



【 落ち着いた銀葉のモクビャッコウ キク科 】

寄せ植えや花壇のシルバーリーフと言えばシロタエギクをよく用いますが、同じキク科のモクビャッコウの葉はシロタエギクほど大きくなく、どのような植物と合わせてもシックな落ち着いた感じにしてくれる優れものです。半耐寒性常緑低木でシルバーリーフが美しく、3～5cmの葉は長楕円倒卵形、全縁もしくは2～5裂のへら状で枝先に集まって付きます。莖はよく分枝して自然にこんもりとした樹形になり、高さは30～50cmに育ちます。葉には微細な毛が密生し株全体が白っぽく見え、葉をこすると菊のような香りがします。冬には枝先にヨモギのような花弁のない5mmほどの黄色い花序をつけます。東アジア原産で日本では鹿児島県の海岸沿いの隆起サンゴ礁由来の岩場に生育していますが、近年では自生種が激減して絶滅危惧種Ⅱ類に指定されているようです。自生地がカルシウムを多く含む岩場であることから、庭植えの場合にはあらかじめ石灰などを入れておきます。岩場のように日当たりと水はけのよいところに植えると美しいシルバーリーフに育ちます。夏場の日光不足は葉の色が悪くなる原因になります。大きく育つと株元から木質化して幹が木のようにゴツゴツとした質感になります。生育はゆっくりですが大きくなると蒸れやすくなるため、花後に葉を残して切り戻をしたり、枝透かしをすると下葉が蒸れにくくなります。病虫害は少ないのですが、蒸れるように管理しているとグンバイ虫がついて葉色があせたりします。挿し木で増やすことができます。

一般的には春5月に行いますが、20℃以上あれば可能なので秋10月にも行えます。春の剪定で切った枝を利用でき、枝先を10cmほどに切って下の葉を取り除き、水揚げしてから鹿沼土や赤玉土にしっかり挿します。半日陰で管理すれば2週間ほどで発根します。1か月ぐらいで鉢上げし、日の当たるところで育てます。秋以後に濃い肥料を与えると冬の葉色が悪くなるので、春からの生育期に緩効性肥料を与えるようにします。

寄せ植えやハーブガーデンの縁を飾る植物、和風の庭の根はじめにも利用できる便利な植物です。
(写真・文：奥井里実相談員)



へら状の葉
これは先が2裂しています



花弁のない筒状花の
集まりになっている

緑化リーダー養成講座の花壇

花とみどりの相談所では、地域での緑化活動の先導役となる緑化リーダーの発掘・育成を目的に、緑化リーダー養成講座を実施しております。

今年も、養成講座の受講生の皆さんが、講座の一環として苗作りからデザイン・植え付けまでを行い、花とみどりの相談所入口の花壇に、植え込みや寄せ植えを製作しました。また、養成講座の基礎編・応用編ともにハンギングバスケットも製作しました。

＊応用編はペットボトルを再利用したハンギングバスケットに挑戦しました。

門の前にはハボタンでかたどった今年の干支の「午」を飾っています。是非ご覧になってください。



花とみどりの講習会

【春バラの冬剪定と育て方】

日時：1月17日（土）10時～12時

場所：花とみどりの相談所

講師：同所相談員 植村 修二

定員：24人

申込：1月10日（土）9：15～ 電話可

費用：600円

花とみどりの相談

相談時間は、**火曜日・木曜日**の
午後1時から4時30分までです。
電話による相談も行っています。

花とみどりに関する相談を受け付けて
います。お気軽にどうぞ！

《 1月の休所日 》

毎週の日曜・月曜日と13日(火)です。

年始(1/1～1/5)は、休所します



豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曾根南町1丁目4番1号（豊島公園内） 阪急宝塚線 曾根駅南 約500m

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638